サイバーナイフ

# 最新鋭ロボットアームで病巣をピンポイント治療

当院は、脳・脊椎脊髄疾患の予防から、診断、治療まで一貫した高度医療を行うことを理念として、平成10年に町田市の緑豊かな丘陵と学園の一角に開設しました。とくに救急医療は24時間365日いつでも受け入れられる体制をとり、主に脳卒中や頭部外傷などの急性期治療を行うとともに、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患の手術も積極的に行い、これまでに延べ5万人の患者さんを治療してまいりました。

そして平成18年8月、さらなる高度医療を求めて定位放射線治療装置の一つであるサイバーナイフⅡを導入いたしました。

われわれ脳神経外科医も外科医の端くれですから、敵（腫瘍など）を全部やっつけたい、できれば全部取りきりたいと思って手術をするわけですが、実際の手術中には、もう少し頑張れば取れそうだけど危険性を考えるとどうしても取れないということがあります。しかし、脳神経症状を出すような合併症を考えると撤退する勇気も必要で、最終的には全摘不能な病巣を残して手術を終えることになります。残った病巣に対しては、術後放射線治療や化学療法を行うことも多く、近隣の大学病院等と連携して術後治療を依頼することも少なくありませんでした。そんなとき、切らずに治すサイバーナイフⅡに出会い、その性能のすばらしさに一目惚れして導入を決めました。

これまで、放射線治療というと手術のできない末期に行うものだとか、副作用が強いというマイナスイメージがあり、放射線治療が恐ろしいものと思われがちでした。しかし、近年の科学技術、コンピューターの技術革新はめざましく、放射線治療技術も飛躍的に進歩したため、放射線を必要な部位に必要な量だけ集中して、安全に正確に照射することができるようになり、放射線治療のイメージは期待へと変わり、ニーズが高まっています。

サイバーナイフⅡは米国スタンフォード大学のジョン・アドラー教授によって開発されたもので、日本では2004年からバージョンアップされた最新鋭のサイバーナイフⅡが稼働し、より精度の高いロボットで6次元情報をもとに正確な放射線量を的確に病巣に照射出来るようになりました。サイバーナイフⅡは6つの関節をもったロボットアームに小型軽量化された放射線発生装置（リニアック）を搭載し、病巣へ最大1200方向から照射することができます。そして、患者さんにとって大きなメリットは、今まで必要だった痛みを伴う頭のフレーム固定が必要なくなり、プラスチック製マスクで固定するだけになったことです。これは巡航ミサイルの追尾システムが応用され、病変が動いても追尾することができるようになったからであり、病変追尾システムはサイバーナイフⅡだけがもつ画期的技術なのです。

これからも私たちは、高度医療を実践しながら、かけがえのない患者さんの健康を守るため、たゆまぬ情熱を注いでまいります。

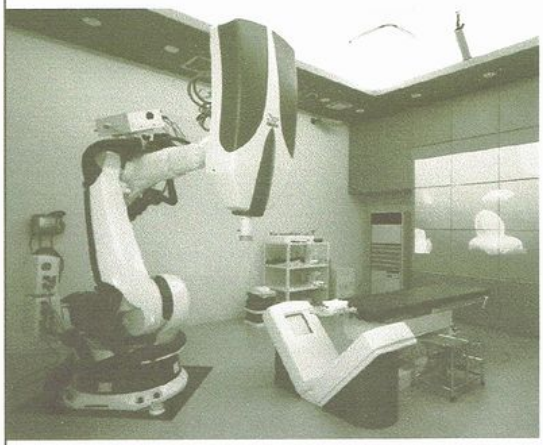
サイバーナイフセンター長

**山下弘一**

*Koichi Yamashita*

昭和62年聖マリアンナ医大卒、医学博士、脳神経外科専門医、おか脳神経外科理事・副院長。趣味はジャズと極真空手、テナーサックス演奏。

コンピュータ制御で放射線を必要な部位に必要な量だけ集中して安全に正確に照射することができる



壁面の大型スクリーンに大自然のヒーリング・ビデオが映し出される広々としたサイバーナイフ治療室

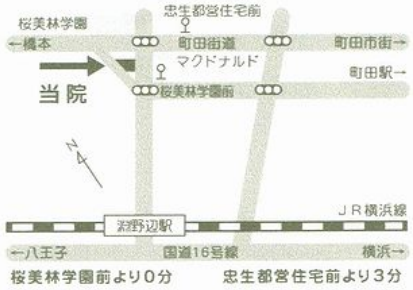
脳腫瘍、頭頸部腫瘍、脳動静脈奇形、三叉神経痛（保険適用外）などがサイバーナイフの適用病名

## 東京サイバーナイフセンター
## 国内15台目、都内ではじめて設置

**Data**

| | |
|---|---|
| 病院名 | 医療法人社団三翔会　おか脳神経外科 |
| 理事長・院長 | 岡　伸夫 |
| 担当医 | 山下弘一 |
| 所在地 | 〒194-0034 東京都町田市根岸町27-1 |
| 電話 | TEL 042-798-7556（直通） |
| URL | http://www.oka-nsc.com/ |

**Access**




桜美林学園前より0分　　忠生都営住宅前より3分

新宿から小田急線にて町田駅まで約30分。
横浜からJR横浜線にて淵野辺駅まで約40分。
駅から当院まではバスをご利用いただきます。